

大会名称: **高松宮記念杯 第48回全日本実業団バスケットボール選手権大会**
東日本大震災復興支援

開催場所: **仙台市体育館 Bコート**

試合区分: **No. 81 女子 決勝**

期 日: **2016(H28)年2月14日(日)**

主審: **北沢 あや子**

開始時間: **11:40**

副審: **尾形 美樹:山口 波穂**

鶴屋百貨店 (九州1位)	○ 66	20 - 18 14 - 13 17 - 24 15 - 10 - - -	● 65	山形銀行 (東北2位)
----------------------------	----------------	---	----------------	---------------------------

1Q: 両チームハーフコートマンツーマンでスタート。鶴屋は#9落合、#6田中らガード陣のスピードを活かした早いタイミングでショットチャンスを作り、開始5分で12-6と鶴屋ペースの展開。対する山形は#10森のドライブ、#5佐藤、#11青山のインサイドなどを軸にオフェンスを組み立てる。山形は鶴屋のファールを誘いながら#11青山、#15倉永らがフリースローで着実に加点。フルコートのプレッシャーディフェンスも仕掛けながら、残り1分30秒で2点差まで追いつける。その後鶴屋#10瀬井がアウトサイドを沈めると、山形は#11青山のポストプレイで応酬、20-18で鶴屋の2点リードで1Q終了。

2Q: 開始2分で鶴屋#13野尻が負傷退場。インサイドで優位に立った山形が#11青山のフリースローで開始3分には同点に追いつく。引き続き早いゲーム展開に持ち込みたい鶴屋は、#12米村がディフェンスリバウンドから一気にレイアップに持ち込むが、その後山形のディフェンスに対応されショットの精度が上がらず得点を伸ばせない。中盤は互いにショットが決まらず膠着状態が続くなか、鶴屋#16箕田がハイポストからのジャンプショットやゴール下でねじ込むなどインサイドで存在感を発揮する。残り1分で32-29となったところで山形がタイムアウト。直後に鶴屋はフルコートでのディフェンスを仕掛けるが、山形は冷静に対応。#15倉永がリバウンドショットを決め1点差に詰めるが、終了直前に鶴屋#15濱本がミドルからのジャンプショットを確実に決め、34-31と鶴屋が3点リードで前半終了。

3Q: 鶴屋は#9落合がドライブからのジャンプショットで連続ゴールを決めるなど、前半同様スピーディな展開に持ち込む。山形はセットを組み立てスペースができたところを#11青山らがゴール下に持ち込み加点。中盤は、双方点の取り合いとなるが、残り2分30秒、山形#6赤川のローポストプレイで48-46と逆転に成功、フリースローも決め3点差とする。山形は徹底してインサイドにボールを集め鶴屋のファールを誘いながら、インサイドにディフェンスが集中したところで#8渋谷が3Pを決めるなどペースをつかむ。残り39秒に鶴屋#13野尻のバスケットカウントで食らいつくが、すぐに山形は#6赤川が角度のないところからジャンプショットを決め、51-55と山形がリードし最終Qへ。

4Q: 序盤はお互い守り合う展開の中、鶴屋#15濱本がハイポストからのドライブを決め53-55と2点差に詰めたところで山形が後半1回目のタイムアウト。その後しばらく膠着状態が続くが、山形#10森の1対1、#8渋谷がハイポストからのドライブでバスケットカウントに持ち込むなど徐々に山形ペースに。残り4分55-63と8点のビハインドとなったところで鶴屋は2回目のタイムアウト。ディフェンスをゾーンに切り替える。鶴屋#9落合がジャンプショットを決め、59-63と4点差に詰めたところで山形が2回目のタイムアウト。さらに鶴屋は#6田中がジャンプショット、ターンオーバーからのレイアップを決め、残り1分12秒で同点に。ここで山形が3回目のタイムアウト。山形は鶴屋のゾーンに苦しみながら、オフェンスリバウンドを連続して獲得し#5佐藤がねじ込み山形が2点リード。残り14秒、鶴屋はエンドスローインに#12米村が飛び込みファールを誘い、フリースローを2本決め65-65と追いつく。さらに残り0.1秒、鶴屋#16箕田がショットに持ち込んだところでファールをもらい、フリースローを沈め、66-65と1点差で鶴屋が勝利をものにした。